Racing Topics

★中央競馬ニュース　文・谷川善久★

●菊花賞はゴーイントゥスカイが優勝

10月25日(日)に行われた菊花賞(ＧⅠ)では、ゴーイントゥスカイ(牡３歳／美浦・上原佑紀厩舎)が優勝、ＧⅠ初制覇を果たしました。上原調教師にとっても初のＧⅠ制覇で、36歳８か月27日での菊花賞勝利はレース史上最年少記録(1984年のグレード制導入以降)。鞍上の武豊騎手は歴代単独最多となる菊花賞６勝目をマークするとともに、自身の持つＧⅠ最年長勝利記録を57歳７か月11日へと伸ばしました。また2005年ディープインパクト、2020年コントレイル、そしてゴーイントゥスカイによる父子３代菊花賞制覇は史上初のこととなります。

●笹田和秀調教師がJRA通算300勝を達成

10月25日(日)の４回新潟４日・第10レースとして行われた村上特別ではハートメテオが１着となり、同馬を管理する笹田和秀調教師(栗東)は、現役70人目となるＪＲＡ通算300勝(延べ3698頭目)を達成しました。

●秋の新潟競馬リーディングジョッキーは松本大輝騎手

10月25日(日)をもって４回新潟競馬が終了し、５勝・２着１回の成績を残した松本大輝騎手(栗東・森秀行厩舎)が、５勝・２着０回の河原田菜々騎手を抑えて開催リーディングジョッキーに輝きました。

★地方競馬ニュース　文・宇田川淳★

●エーデルワイス賞(門別)は地元北海道の伏兵クラプロスパー

エーデルワイス賞(ＪpnⅢ、２歳牝馬、10月29日、門別、1,200㍍)は、５、６番手から追い上げた７番人気の北海道所属馬クラプロスパー(山本聡哉騎手＝岩手、父アルクトス)が、逃げた１番人気のセルアウトクラウド(北海道)を残り50㍍で差し切りました。ミカミッチーが３着、コンテミュールは８着、３番人気のワールドエンジェルは10着、カエリールークスは最下位の14着でした。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

10月22日の2026ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は、第１戦は土田真翔騎手(美浦)、第２戦は藤田凌駕騎手(北海道)が優勝。10月27日のトライアルラウンド大井は、第１戦を高橋優騎手(大井)、第２戦を小林美駒騎手(美浦)が制しています。

●金沢のJBCにメイショウハチロー、ウィルソンテソーロが参戦

ＪBCクラシック(ＪpnⅠ、11月３日、金沢、2,100㍍)は、３歳馬ワンダーディーン、アウトレンジ、ホウオウルーレット、ストレングス、カゼノランナー、オディロン(兵庫)、セラフィックコール(川崎)、サントノーレ(大井)の順に有力視されます。

ＪBCスプリント(ＪpnⅠ、11月３日、金沢、1,400㍍)は、メイショウハチローとウィルソンテソーロのＪpnⅠ馬に、マテンロウコマンドを加えた３頭が主力を形成、インユアパレス、ケイズレーヴ(愛知)、ハッピーマン、ゼーロス(大井)が続きます。

ＪBCレディスクラシック(ＪpnⅠ、11月３日、金沢、1,500㍍)は、メモリアカフェが中心、以下タガノミスト、テンカジョウ、アンズアメ、タマモフリージアまでが争覇圏内と考えられます。

ＪBC２歳優駿(ＪpnⅢ、11月３日、門別、1,800㍍)は、ＪRA所属馬ではオーリエイト、マルカルーカス、マイセイバー、ワンダーマーベル、ダート未経験のギブリという序列になり、北海道勢はタルマエドン、イケメンモンスター、アンサラーが有力です。

★海外競馬ニュース　文・秋山響★

●Ｇ１コックスプレート～コズミッククルセイダーが制す

大規模な改修工事が実施されているムーニーバレー競馬場から、同じオーストラリア・ヴィクトリア州にあるフレミントン競馬場に舞台を移して現地10月24日に行われたＧ１コックスプレート(３歳以上、芝2,040㍍)はW.パイク騎手を背に後方から鋭く伸びたコズミッククルセイダー(騸６歳、A.リーク厩舎)が優勝しました。0.75馬身差の２着にアンダーウッドＳを含むＧ１・２勝のバードマン。2015年度のＪRA賞年度代表馬モーリスを父に持つコズミッククルセイダー(ニュージーランド産馬)はこれで昨年12月のノーザリーＳ(芝1,800㍍)、２走前(10月３日)のターンブルＳ(芝2,000㍍)に続くＧ１・３勝目。前走のＧ１コーフィールドＣは４着でしたが、そこから連闘で向かったここで鮮やかに巻き返しました。

●Ｇ１フューチュリティトロフィー～ジャイアントセコイアが優勝

10月24日にイギリスのドンカスター競馬場で行われたＧ１フューチュリティトロフィー(２歳牡牝、芝1,600㍍)はD.マクモナグル騎手が騎乗したジャイアントセコイア(牡２歳、父フランケル、愛A.オブライエン厩舎)が後方追走から残り200㍍手前で先頭に立つと、そこから差を広げて３馬身差で快勝しました。ジャイアントセコイアはデビュー３戦目となった今年８月のＧ２愛フューチュリティＳ(芝1,400㍍)で重賞初制覇を果たしましたが、続く前走９月のＧ１ヴィンセントオブライエンナショナルＳは６着に敗れていました。